

# みやけの風

## 第 190 号

平成16年(2004年)9月18日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

帰島前健康診断の会場で、懐かしい顔に会いました。「帰えんの？」と聞くと、「帰らない」との答え。思わず笑ってしまいましたが、今は帰らないつもりでも健診を受けておこうという態度は正しいと思います。いつ考えが変わって島に帰ることにしても自分の身体のことを知っておけば少しは安心です。別に来春帰らなかったからといって、もう永遠に島には帰らないとか住まないとか、そういう話ではないですわね。

### みんなの声

#### 島の皆さんへ

9月に入り、朝夕は風が冷たく感じる今日この頃、来年2月の避難解除まで後5ヶ月余り、皆様帰島に向けての準備でたいへんなことと思います。帰島と言っても、健康な人も高感受性者も子供たちも皆、自己責任を背負っての帰島です。

私のところでは主人が高感受性者で孫もいます。不安いっぱい、帰島になりそうです。飲んでばかりはられません。孫は離れて暮らしていた父親との生活を楽みにして、山に登ってみたい、海で泳ぐんだと言ってはしゃいでいます。緑豊かな三宅島、澄んだ海の三宅島、元の様な島にもどるのは後何年かかるのでしょうか。

島民の皆様も4年間という長い避難生活でお疲れのことでしょうが、もう少し頑張ってくださいね。くれぐれもご自愛くださいますように。  
 (江戸川区 坪田 佐藤 秀子)

#### ～ 大切な住民説明会 ～

いよいよ今週末に、三宅村役場から私達に対する住民説明会が行われます。帰島宣言が出されて、今後に向けてどんな説明がされるのか、きちんと聞いておかなければと思いつながら待っています。

これからの暮らしを考える為の大きな材料になると思っているので、そこで説明される内容をしっかり受けとめた上で、これからの暮らしのイメージをしていきたいと思っています。そして役場の方々の懸命な

努力によって進められた内容が、できるだけたくさんの島の人に届くといいなあと思う一方で、いろいろな事情で会場に足を運ぶことができない人もいますので、そんな人達にも届くようなことが行われるといいのになあと思います。

僕も周りに行かれない人がいたら、「こんなことが話されたよ、このことはこうなんだってよ」と教えてあげたいと思います。もう一つは、説明された内容を受けてみんなが気持と意見を交換できるような機会があるといいのになあとも思います。

いずれにしてもとても大切な説明会になると思いますので、みんなで足を運びましょう。  
 (伊ヶ谷 坂上)

#### 三宅村より

8月に開設していた「総合相談窓口」の出張窓口は、9月17日の武蔵村山支援センター会場を最後に、終了いたしました。今後につきましては、改めて、みやけの風の紙面などを通じて、お知らせいたします。

#### いよいよ本日より！住民説明会

日 時	会 場
18日 (土)	13:30 新宿 都庁第1庁舎 5F大会議室
	18:30 立川 女性総合センターアイム 1Fホール
19日 (日)	13:30 八王子 南大沢文化会館 1F主ホール
	18:00 北区 桐ヶ丘郷小学校体育館

お問合せ：三宅村帰島対策課  
 TEL：03-5320-7825

『とびだせセンター』レポート

東京あいらんどフェアにお邪魔しました!

ここ2~3日で、東京はすっかり秋らしくなって、空気にきんもくせいの香りを感じるようになりました。そんな中、9月16・17日の両日、新宿駅西口イベント広場で『東京あいらんどフェア』が開かれると聞き、お邪魔してきました。

会場の入り口すぐの三宅島コーナーでは、三宅村ゆめ農園、三宅ハート会、清漁水産が商品を並べ、人だかりが出来ていました。ふと目をやると、隣の東京あいらんどのコーナーでも、商工会女性部の方など、よくお見かけする方たちが忙しそうに立ち働いています。

三宅島には行ったことのない私ですが、4年の間にたくさんのお知り合いが出来ました。

いつも会うとニコニコと声をかけてくださる方が、ゆめ農園のブースで一生懸命クルクマの花束を売っていました。ドラセナの鉢植えも大人気です。溶岩鉢の寄せ植えはあと2鉢残っているだけです。「午前中にすごい売れてしまっ」と嬉しそう。帰島後の新たな三宅島の物産となっていくといいですね。

「味見して行って~!」と、次のブース

三宅村保健福祉課より

帰島前健康診断が始まりました。帰れるか帰れないかを決める健診ではありません。自分の体について知るための健診です。

2種類の問診票をお忘れなく

- ・呼吸器症状調査票(大人は青、子供はピンク)と健康診断票(封をされた封筒)に必要なことをすべて記入して持って行きましょう。健康診断票は鉛筆で縦線を引いたり、数字を入れたり書き方で、ちょっとなじみがないかもしれません。病歴の記入が重要です。問診票が整っていないと、健診会場で時間がかかってしまいます。

尿の採取を忘れずに

- ・尿器はスポイトになっています。紙の器に尿を入れたら、吸い取って採取してください。必ず、同封の小さな封筒に名前を書いて入れてきてください。

弓玲子「明日優しく吹く風を」チャリティーコンサート

~三宅島復興支援と帰島への願い~

三宅島から避難されている100名様をご招待いたします

日時: 2004年9月25日(土) 15:00開場 15:30開演

会場: 赤坂区民センター区民ホール (地下鉄銀座線・丸の内線 赤坂見附駅下車徒歩10分、大江戸線・銀座線・半蔵門線 青山1丁目駅下車10分)

お申込・お問合せ: 三宅村村民課 担当: 相馬 TEL: 03-5320-7829

は、いつも元気な三宅ハート会の皆さんです。大根を日干しにして甘酢で漬け込む『てっぱつ漬け』や、おなじみ『ハート化粧品』、手作りの袋物や札入れ、いろいろな小物など品揃えも豊かに並んでいます。『きくらげみそ』と『てっぱつ漬け徳用袋』はすでに売り切れていました。メンバーの方々のにぎやかで生き生きとした様子に、仲間と一緒に働くのを楽しんでいるのがいいなあと感じました。

次は清漁さんのくさやのブースです。一人で店を守っている清漁さんの店番を、ちょっぴり手伝わせていただきました。立ち寄ってくださるお客様のなかには、「そろそろ帰れる兆しが見えてきたんですって?」「大変だけど、がんばって」と三宅島のことを心配して声をかけてくださる方も。大人気のトビのクサヤは早々と完売してしまいました。

避難生活は厳しいと思いますが、今日の皆さんの活気に満ちた顔を拝見して、今後の三宅島の復興の芽を見たような気がして元気をいただけて帰ってきました。

(三宅島支援東京センター みやけの風担当)

耳 寄 情 報